

BTCC “**新規口座開設限定**”

BTCC口座開設&入金で、最大**17500USDT**が獲得できる。
お友達を紹介するとさらにボーナスをプレゼント!

今すぐ口座開設/詳細はこちら



仮想通貨FITとは？ CaloRunにおけるFITとCALOの違いも解説

原文:

<https://www.btcc.com/ja-JP/academy/crypto-basics/what-is-fit-token-and-the-difference-between-fit-and-calo-in-calorun-explained>

話題の仮想通貨「FIT」って何？ STEP.Nの丸パクリゲーム「CaloRun」における**仮想通貨**「FIT」と「CALO」の特徴や違いを知りたいなっていう方はいらっしゃいますか？

本記事では、仮想通貨FITの概要、特徴、CaloRunにおけるFITとCALOの違い、将来性などについてわかりやすく解説していきます。



仮想通貨FITとは？

仮想通貨FITはもともと、FitScriptというジムでの運動で仮想通貨を獲得するアプリを中心に、ユーザーの健康的なライフスタイルを後押しするプロジェクトのトークンです。

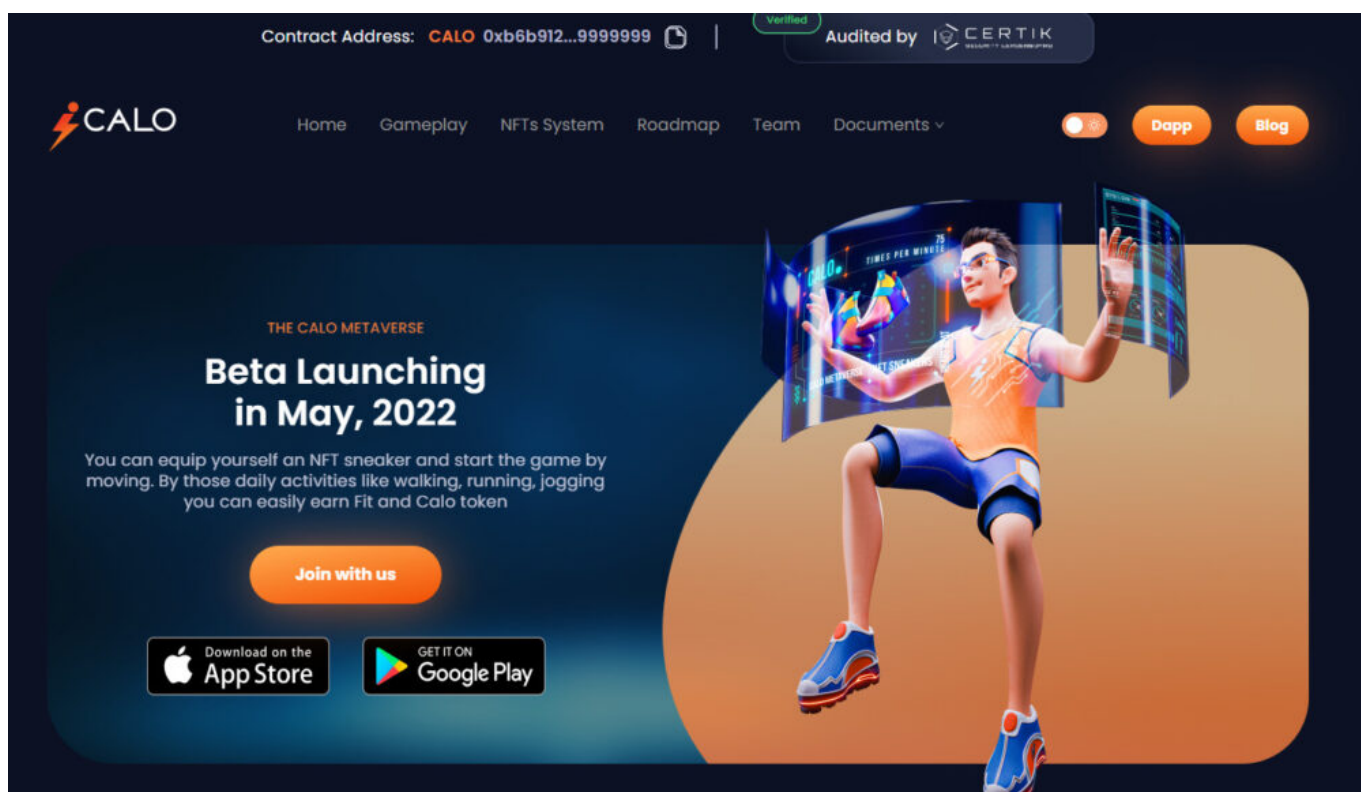
FitScriptは在アメリカの2名の若手起業家によって立ち上げられ、現在公式ツイッターのフォロワー数は約10,055人まで到達している、注目のプロジェクトです。

そんなFitScriptアプリを通じてジムでの運動で獲得できる仮想通貨FITは現在分散型取引所の[PancakeSwap\(パンケーキスワップ\)](#)でのみ、取引ができます。

仮想通貨FITの発行枚数は1,000億枚です。時間と共に価値が上昇していくデフレーショントークンとして設計されています。

2022年の2月から「STEPN」をきっかけに「歩いて稼ぐ[ブロックチェーン](#)ゲーム」が大流行しています。その波に乗った「丸パクリゲーム」のがCaloRunです。CaloRunの仮想通貨として、「FITトークン」と「CALOトークン」がよく注目されています。では続いて、CaloRunという歩いて稼ぐブロックチェーンゲームを紹介していきます。

CaloRunとは？【Move to Earn (M2E/歩いて稼ぐ) ゲーム】



CaloRunの概要

- STEPの丸パクリゲーム
- GMTに相当するのが「CALOトークン」で、GSTに相当するのが「FITトークン」
- CALOの発行上限は500,000,000枚。FITは無制限。

CaloRunは「Move to Earn (M2E/歩いて稼ぐ)」ゲームのSTEPNと同じシステム。歩くいたり靴のNFTをMintしたりして稼ぐことができます。靴のレベルアップ等の仕組みも同じ。

walkerとかjoggerとかの種類もSTEPNと同じですし、靴のレア度も同じ。

というわけで、CaloRunはSTEPNとほぼ同じと思っておけば問題ないです。STEPNプレイヤーには説明書が不要なレベルのパクリゲーです。

STEPNと異なる点を挙げるとすれば、CaloRunが将来的にメタバース・AR空間への機能拡充することを予定している点。

ロードマップによると、このアップデートは2023年を予定しているみたいです。



ちなみになんですが、運営が受け取るCALOトークンの割合はなんとたった10%。大口投資家たちにも16%しか配ってないんですよ。

つまりトークンの売り圧は比較的低くなるので、ユーザーが稼ぎやすい仕様になっていると言えるでしょう。

CaloRun(FIT/CALO)の特徴

CaloRunの特徴

1. STEPNによく似ている
2. 靴のMintやレベル上げが活発になるなら「FIT」が高騰しやすい
3. プロジェクトそのものが長期的に盛り上がっていく場合は「CALO」が高騰しやすい

STEPNの盛り上がりっぷりは説明不要だと思いますが、カンタンに触れておきます。

CaloRunが期待されているのは、STEPNが超稼げるブロックチェーンゲームだからですよね。事実、STEPNプレイヤーの中には毎月数百万円～数千万円を稼いでいる人がゴロゴロ存在しています。

Just earned \$116 from [#STEPN](#) that is N67860. [@Stepnofficial](#) is the new [#M2E](#) gold.

Keeping fit while earning [#NFTCommunity#NFTs](#) pic.twitter.com/JQxB736O1o

— [Freedom](#) (@Crypto4bailout) [April 21, 2022](#)

↑「歩いただけで116ドル(約15000円)稼いじゃった」というツイート。

その噂を聞きつけた新規ユーザーがどんどん参入していることもあり、STEPNのゲーム内コインである「GMT」や「GST」の価格がものすごく上昇しています。

そんななか現れたのがこの「CaloRun」です。そりゃ、みんな期待しますよね。

STEPNで成功した人も、乗り遅れた人も、このゲームに注目しているというわけです。

FITトークンとCALOトークンの違い

基本的には、CALOがガバナンストークンで、FITがゲーム内トークン。と覚えておけばOKなのですが、しっかりと詳しく知りたい人は下記の詳細を読んでおいてくださいね。

1. FITトークン：

FITトークンは無制限であり、シングルモードまたはチャレンジモードのいずれかで物理的に移動することで達成できます。FITトークンは以下によって書き込まれます：

- 靴のミンティング
- 修理
- スニーカーのレベルアップ
- 石のアップグレード
- スペースのロックを解除

5月12日から5月24日まで、FITは、ShoeMintingイベントでMintingNFTのスニーカーの費用を支払うための唯一のトークンとして使用されます。FITで計算された採掘コストは次のとおりです。

- 168FIT/午後2時からの採掘時間UTC12.05.2020
- 料金は毎回10%ずつ増加します：16.05-20.05-24.05

ユーザーごとのマイニング料金は異なります。による：

- NFTを作成した回数
- ミンティングに使用するNFTの種類

2PM UTC 24.05.2022以降、MintingNFTの課金メカニズムはホワイトペーパーで発表されたメカニズムに戻ります。つまり、ShoeMintingイベントの後、NFTを作成するためにFITトークンとCaloトークンの両方を支払う必要があります。

2. Caloトークン：

Calo Tokenは、CaloMetaverseの唯一のガバナンストークンのままです。ガバナンストークンのステータスにより、Caloはゲームのいくつかの重要な機能の前提条件になります。

- ShoeMintingイベント終了後のNFTのマイニング
- 重要なレベルでNFTをレベルアップする
- 取引料金
- NFTの編集/NFTのリセット
- 特別なイベントに参加するための「ステーキング」
- NFTまたはゲームプレイの特別な機能のロックを解除するためのコスト
- Social-FIのガバナンスコインであること
- プレミアムNFTスキンをアップグレードするためのコスト

Caloトークンの「獲得」を開始するには、NFTがレベル30である必要があります。CaloMetaverseは特別なイベント中にCaloの「獲得」モードを開きます。この変更により、Caloの価値は、ゲーム開発の各段階を通じて強化されます。そこから、所有者に最適な利益をもたらします。

仮想通貨FIT/CALOの見通し・将来性

それではFIT/CALOの将来性を見ていきます。

好材料が多いので、大きく価格上昇する可能性は十分にあるでしょう。

※のちほど「GSTやGMTの時価総額」をもとにして「FIT/CALO」将来価格を推定していきます。

1. 世界的に健康志向になっている

→「歩いて稼ぐ」というのは世界情勢にマッチしている

2. STEPNが流行ればFIT/CALOも価格上昇する可能性が高い

→基本的にはSTEPNの後を追っているゲームである

3. 2022年5月にリリースされるゲームなので伸びしろが多い

→すでに値上がりしているSTEPNよりも、不安定な反面の伸びしろは多い

FIT/CALOに投資をしておけば、「歩いて稼ぐ系のブーム」の恩恵を受けられる可能性が高いです。

仮想通貨FIT/CALOの価格予想

それではCaloRunのトークン価格がいくらになるのか推定していきます。

方法としては、STEPNのトークンの時価総額をもとに「STEPNの〇%の規模になったら、トークン価格はこれくらいになるよね」という計算をします。

- GMTの時価総額: 8.2億ドル ※発行上限の10%流通時
- GSTの時価総額: 1.4億ドル

つまり、もしCALOの時価総額がGMTの10%(0.82億ドル)にまで成長するとしたら、**1 CALO=1.64ドル**になります(CALO発行上限のうち10%流通時)。

さらに、GMTの時価総額の20%に達するなら、**1 CALO=3.28ドル**になる計算。まとめると以下の通り。

- CALOの時価総額がGMTの10%に到達→ 1 CALO=1.64ドル
- CALOの時価総額がGMTの20%に到達→ 1 CALO=3.28ドル
- CALOの時価総額がGMTの50%に到達→ 1 CALO=8.20ドル

FITトークンについては発行上限がないので計算が難しいんですが、基本的にはCALOと同じように成長していきますよね。

GMTトークンとGSTトークンの関係を参考にすると将来性が見えやすいかもです!

FIT/CALOを買う前に把握しておくべきリスク

このコインに投資する際に把握しておくべきリスクも解説します。

1. 草コイン(規模の小さいコイン)なので、価格の上下が激しい
2. 国内取引所では買えない
3. STEPNにはない「対戦機能」がある

リスク1：草コイン(規模の小さいコイン)なので、価格の上下が激しい

草コインというのは規模(≒時価総額)が小さいコインです。規模が小さいと価格の上下も激しくなります。

どういうことかということ、例えばどこかの富豪が「ビットコインを3億円ほど買ってみた」みたいなことが起きて、[ビットコイン](#)の総額からみたら誤差ですよ。つまり、ビットコインの価格はほぼ影響されません。

しかし、もしも10億円の規模しかないコインに対して「3億円もの買い」が入ったら、大きく価格が動きます。

このように、規模の小さな「草コイン」は価格が上下しやすいのがリスクです。価格が10倍になるかもしれない、1/10になるかもしれません。

さらにFITトークン/CALOトークンの場合、ゲームそのものが廃れてしまったら価値も下がります。

つまり「歩いて稼ぐ」というブームがこれからどんどん広がっていくなら稼げますが、ブームが消滅したら損をする可能性が高いです。

それに、プロジェクトが途中で止まっちゃったりするリスクもありますよね。

また、ゲームの内容が超パクリなので社会的な信用は低め。でも開発チームは「全員顔出し」なので信頼できるんですよ。

しかも「米国のCERTIK」という企業による監査にも通っていますし、クリプトの世界は謎です。

とまあ、いろいろとリスクを解説しましたが、リスクも将来性も全て織り込んだのが現在価格。リスクが高いと思われることはチャンスでもありますね。

リスク2：国内取引所では買えない

FITトークン/CALOトークンは国内の仮想通貨取引所では売買できません。つまり、海外の取引所を使う必要があります。

コインチェックなどの国内取引所はめちゃめちゃ使いやすいですよ。それと比較すると、海外の取引

所がやや複雑なのは事実。

完全初心者の場合は「操作を間違えて高く買っちゃった」みたいなことが起こる可能性もあります。これが2つ目のリスクです。

リスク3: STEPNにはない「対戦機能」がある:チームチャレンジモード

CaloRunには、STEPNにはない「チームチャレンジモード」という対戦機能があります。これは、プレイヤー同士でチームを作り、他のチームと競うゲームモードです。

内容としては、指定された期間におけるチームの合計距離を競います。優勝したチームは、限定NFTスニーカーを獲得できます。

STEPNは「競争のない平和な世界」だったのですが、こちらは競争のある世界です。

競争がある方がゲーム内経済が活発になるはずですが、競争を嫌がるユーザーの参入を妨げることもなるかもです。

とまあ、これは「リスク」というより「どういった影響があるか分からない要素」ですね。

では、今回は仮想通貨FITの概要、特徴、CaloRunにおけるFITとCALOの違い、将来性などについて解説しました。また、「M2E」アプリの「STEPN」に興味を持つ方は下記のサイトへご参考ください。

[STEPN \(GMT/GST\) とは? 仮想通貨GSTとGMTの違いを解説](#)

[「Move To Earn」歩くと稼げるって本当? M2Eの始め方を徹底解説](#)

[仮想通貨GSTとは? 概要や特徴・買い方などを徹底解説](#)